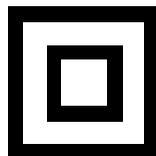
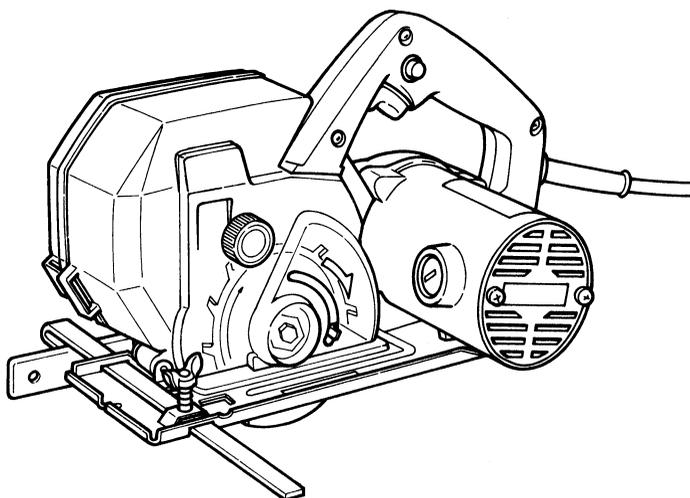
Hitachi Koki

日立集じん丸のこ

100㎜　C 4YA1

取扱説明書

このたびは日立集じん丸のこをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

二重絶縁

HITACHI

目　次

⚠警告，⚠注意，注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠**警告**」と「⚠**注意**」に区分していますが，それぞれ次の意味を表します。また，「**注**」の意味も説明します。

⚠ 警告 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠ 注意 ： **誤った取扱いをしたときに，使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお，「⚠**注意**」に記載した事項でも，状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので，必ず守ってください。

注 ： **製品の据付け，操作，メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は,いつもきれいに保ってください。

- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。

- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。

- 電動工具を使用中，身体を，アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。
（例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠）

④ 子供を近づけないでください。

- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。

- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。

- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。

- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。

- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。

- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。

- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。

- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。

- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。

- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。

- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。

- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。

- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。

- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。

- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。

- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。

- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

回　二重絶縁について

電気が流れる導体部と人の触れる外枠部の間が，二つの絶縁物で二重に絶縁されている電動工具であり，この製品には“回”マークを表示しています。
二重絶縁工具は，感電に対し安全性が高められています。
異なった部品と交換したり，間違って組立てたりすると，二重絶縁構造ではなくなり，安全でなくなる場合があります。
電気系統の分解・組立や部品の交換・修理は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにご用命ください。

集じん丸のこの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，集じん丸のことして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠　警　告

① **使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。**
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② **保護カバーは，絶対に固定しないでください。また，円滑に動くことを確認してください。**
のこ刃が露出したままですと，けがの原因になります。

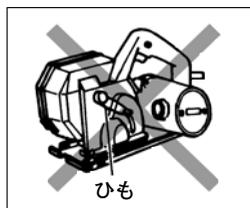
②
③ **のこ刃は，銘板に表示してある範囲内ののこ刃を使用してください。また，歯底径が63㎜以下ののこ刃は使用しないでください。**
けがの原因になります。

③
④ **切断する材料は，安定性のよい台に置いてください。**
台が不安定ですと，けがの原因になります。

⑤ **切り落とし寸前や切断中に，材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように，切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。**
のこ刃がはさみつけられると，けがの原因になります。

⑥ **材料の切り落とし側が大きいときは，切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。**
また，切り落とした材料がのこ刃と接触し，飛散するのを防止するために，台の高さは，のこ刃の出しろの３倍以上にしてください。
このような台がないと，けがの原因になります。
（12ページの図６－２を参照してください。）

⑦ **使用中は，本体を確実に保持してください。**
確実に保持していないと，本体が振れ，けがの原因になります。

⑧ **使用中はのこ刃や回転部，切粉の排出部に手や顔などを近づけないでください。**
けがの原因になります。

⚠ 警　告

⑨ **切断途中で，のこ刃を回転させたまま本体を戻そうとすると，強い反発力が生じ，けがの原因になります。**

その場合，スイッチを切り，回転が完全に止まってから本体を持ち上げるようにしてください。

⑩ **使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。**

そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑪ **誤って落としたり，ぶつけたときは，のこ刃や機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。**

破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑫ **耳栓を使用してください。**

金属サイディング切断時には，大きな金属音が出ます。

⚠ 注　意

① **刃物類(のこ刃など)や付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**

確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **のこ刃にヒビ，割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。**

のこ刃が破損し，けがの原因になります。

③ **使用中は，軍手など巻き込まれる恐れがある手袋を着用しないでください。**

回転部に巻き込まれ，けがの原因になります。

④ **作業前に，人のいない方向にのこ刃を向けて空転させ，機体の振動やのこ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。**

異常があると，けがの原因になります。

⑤ **切断する材料の下に障害物がないことを確認してください。**

強い反発力が生じ，けがの原因になります。

⑥ **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**

刃こぼれだけでなく，反発により思わぬけがの原因になります。

⑦ **切断しようとする材料の前方に手を置いたり，コードを材料の上に乗せたまま作業しないでください。**

手を切ったり，コードを切断し，感電の恐れがあります。

⚠ 注　意

⑧ 回転するのこ刃で，コードを切断しないよう注意してください。
感電の恐れがあります。

⑨ 本体を万力などで保持した使い方はしないでください。
不意の接触などで，けがの原因になります。

⑨

⑩ 高所作業のときは，下に人がいないことをよく確かめてください。また，コードを引っかけたりしないでください。
材料や機体などを落としたときなど，事故の原因になります。

⑪ 回転させたまま，台や床などに放置しないでください。
けがの原因になります。

注

- **のこ刃が材料に触れた状態でスイッチを入れないでください。**
  ベルトが傷付き，ベルトの寿命が著しく低下してしまいます。
- **切断作業は，のこ刃の回転が全速になってから行なってください。**
- **切りくずは早めに捨ててください。ダストボックス内に切りくずが満杯になったままで使用すると，排出口に切りくずがつまり，集じん力が低下します。**

各部の名称

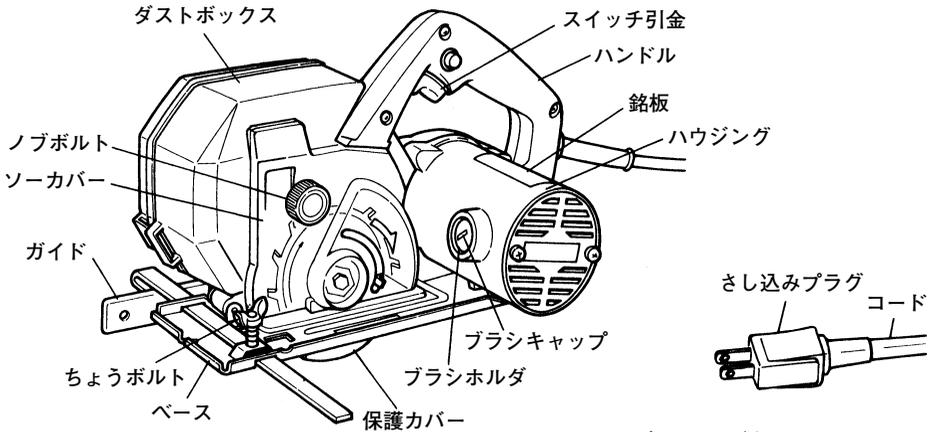



図１－１

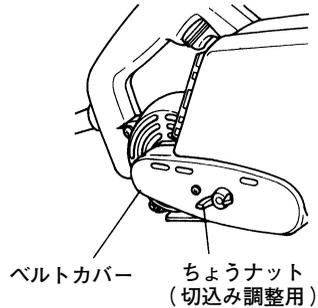
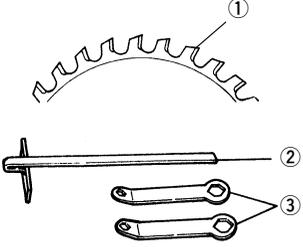



図１－２

仕　　様

使用電源	単相交流 50／60 Hz　　共用 電圧 100 V
切込み深さ	27 ㎜
のこ刃寸法	外径 100㎜×穴径 20 ㎜
無負荷回転数	13000 min^{-1} ｛13000 回／分｝
全負荷電流	8 A
消費電力	750 W
モーター	単相直巻整流子モーター
質量	3.3 kg（コードを除く）
コード	2 心キャブタイヤケーブル 5 m

標準付属品

機種	付属品
C 4YA1 **標準チップソー付**	①標準チップソー（本体装着）･･･ 1 枚 寸法 外径 100㎜／内径 20㎜／チップ幅 2㎜／のこ身厚さ 1.6㎜／歯数 14枚 ②ガイド･･････････････････････ 1 個 ③スパナ･･････････････････････ 2 個 図　2
C 4YA1（SC） **特殊チップソー付**	①特殊チップソー（本体装着）･･･ 1 枚 （金属サイディング用） 寸法 外径 100㎜／内径 20㎜／チップ幅 1.3㎜／のこ身厚さ 1.1㎜／歯数 36枚 ②ガイド･･････････････････････ 1 個 ③スパナ･･････････････････････ 2 個 図　3
C 4YA1（N） **のこ刃別売**	①ガイド･･････････････････････ 1 個 ②スパナ･･････････････････････ 2 個 図　4
石こうボード用 C 4YA1（SG） **石こうボード用チップソー付** 〔スーパーチップソー（ブラック）〕	①石こうボード用チップソー 〔スーパーチップソー（ブラック）〕 ･･････ 1 枚 寸法 外径 100㎜／内径 20㎜／チップ幅 1.2㎜／のこ身厚さ 0.8㎜／歯数 32枚 ②ガイド･･････････････････････ 1 個 ③スパナ･･････････････････････ 2 個

寸法表：

機種	外径	内径	チップ幅	のこ身厚さ	歯数
C 4YA1	100㎜	20㎜	2㎜	1.6㎜	14枚
C 4YA1（SC）	100㎜	20㎜	1.3㎜	1.1㎜	36枚
C 4YA1（SG）	100㎜	20㎜	1.2㎜	0.8㎜	32枚

別売部品

集じん機で集じんする場合に使用します。
取付け方については19ページをご参照ください。

○ **集じんアダプタ**

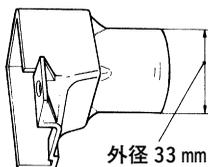



図５－１

○ **集じんアダプタセット**

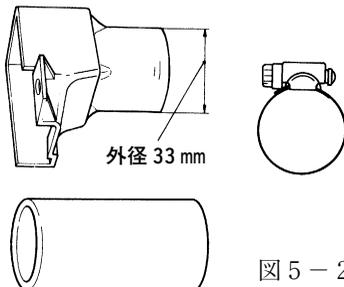



図５－２

用　　途

各種材料の切断…………下表を参照してください。

注 • **石こうボード用C４YA1（SG）は、石こうボード切断専用です。石こうボード以外の切断を行なうと、ベースのフッ素コートが剥れ、ベースの滑りが悪くなります。**

刃　　物	切断できる材料
標準チップソー	○ 木材　○ 合板 ○ ファイバーボード　○ パーティクルボード ○ 木毛セメント板　○ 硬質細木片セメント板 ○ 石こうボード ○ プラスチック（アクリル，※FRPなど）
特殊チップソー（金属サイディング用）	○ ※※金属サイディング
石こうボード用チップソー〔スーパーチップソー（ブラック）〕	○ 石こうボード

※　FRPは厚さ15㎜まで切断できます。それ以上の厚さのものを切断しますと，モーターに無理がかかり，モーターやベルトを傷める恐れがあります。

※※　鉄板の厚さが０.３㎜のものまで切断できます。
０.３㎜以上の金属サイディングは切断できません。

注 • **チップソーは材料にあわせて，正しく使い分けてください。**
チップソーの選択を誤ると，すぐに切れなくなり，モーター部に無理がかかります。また，ベルトの寿命を短くします。

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

1．漏電しゃ断器の確認………

この製品は二重絶縁構造ですので，法律により漏電しゃ断器の設置は免除されていますが，万一の感電防止のため，漏電しゃ断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

2．継ぎ（延長）コード………

⚠ 警　告
• 継ぎ（延長）コードは，損傷のないものを使用してください。

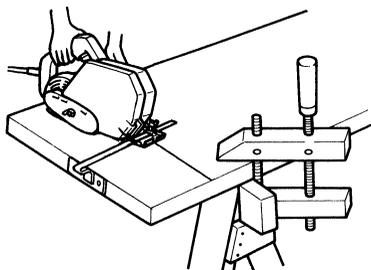
電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
1.25 mm^2	15 m
2 mm^2	25 m
3.5 mm^2	45 m

左の表は，使用できるコードの太さ（導体公称断面積）とその最大長さを示します。

3．作業台（木製）を用意する………

⚠ 警　告
• 材料の切り落とし側が大きいときは，切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。 また，切り落とした材料がのこ刃と接触し，飛散するのを防止するために，台の高さは，のこ刃の出しろの3倍以上にしてください。このような台がないと，けがの原因になります。

図６－１

のこ刃は材料の下面より出ますので，材料は作業台の上にのせて切断してください。

また，のこ刃および保護カバーが地面に接触しないように十分な高さ（のこ刃の出しろの３倍以上）にしてください。

切断する材料の切り残し側は，しっかり押さえておくようにしてください。

この場合，材料をバイスで固定するなどしてしっかり押さえれば安全であり，両手で作業することができます。（図６－１）

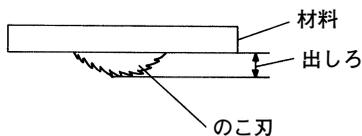



図６－２

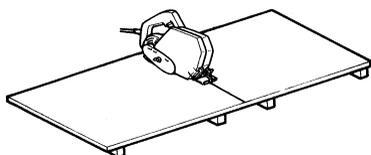



図６－３

材料の切り落とし側が大きいときは，切断中に材料の重みでのこ刃がはさみつけられないように切り落とし側にも安定性のよい台，または角材を設けてください。（図６－３）

作業台に角材などを利用する場合は，地面の平らなところを選び，角材を固定してください。

作業台がぐらぐらしていると危険です。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。１～５項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

１．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電源でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

２．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチ引金（図１－1参照）を引くと入り，離すと切れます。

スイッチの引金を引き，離したとき引金が戻ることを必ず確認してください。

3．のこ刃の締付けを確かめる………

工場で組立ての際は，すぐご使用できるように，のこ刃を締付けてありますが念のため確かめてください。ボルトは反時計方向にまわすと締まります。付属のスパナを使用し点検してください。

詳しくは16ページの「のこ刃の取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

4．ちょうナットの締付けを確かめる………

⚠ 警　告
• 切込み調整用ちょうナット（図1－2参照）がゆるんでいると，けがの原因になります。十分締まっていることを確認してください。

5．切る前の調整………

⚠ 警　告
• 保護カバーは，絶対に固定しないでください。 また，円滑に動くことを確認してください。 のこ刃が露出したままですと，けがの原因になります。

⑴　保護カバーの動きを確かめる

保護カバー（図１－１参照）は，身体がのこ刃に触れるのを防ぐものです。必ずのこ刃をおおうように円滑に動くことを確認してください。

万一保護カバーが円滑に動かない場合は，決してそのままお使いにならないでください。

この場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理をご用命ください。

⑵　切込み深さの調整（図７）

⚠ 警　告
• 切込み調整用ちょうナットがゆるんでいると，けがの原因になります。調整後，十分に締付けてください。

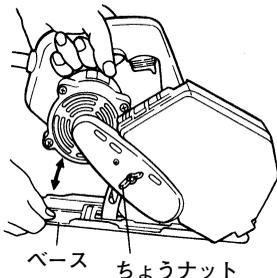



図　7

ちょうナットをゆるめてベースを動かすと，切込み深さの調整ができます。調整後，ちょうナットを十分に締付けてください。

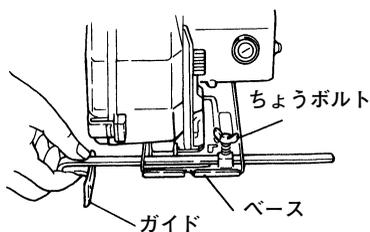



図８－１

(3) ガイドを取付け，調整する

ちょうボルトをゆるめて，ガイドをベースの穴へさし込みます。そしてガイドを左右に動かして切断位置の調整をします。（図８－１）

ガイド面からのこ刃までの寸法を詰めたいときは，ガイド面の穴を使って，補助木を取付けてください。（図８－２，図８－３）

ガイド
のこ刃
ガイド面
補助木

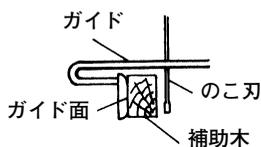



図８－２

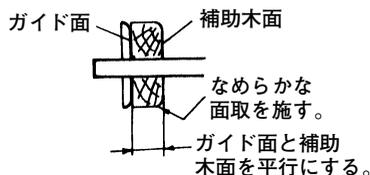



図８－３

6．電源コンセントの点検………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと，過熱して事故の原因になります。

切　り　方

⚠ 警　　告

- **使用中，のこ刃が止まったり，異音を発したときなどには直ちにスイッチを切ってください。**
- **切断中に本機をこじったり，強く押しすぎるとモーター部に無理がかかるばかりでなく，ベルトがスリップし，ベルトの寿命を短くしてしまいます。また反発力を受け，けがの原因になります。まっすぐに静かに進めるようにしてください。**
- **のこ刃を上向き，横向きにした使い方は，けがの原因になります。このような使い方はしないでください。**
- **保護メガネを使用してください。**
- **耳栓を使用してください。**
- **作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

⚠ 注　　意

- **回転するのこ刃で，コードを切断しないよう注意してください。**

注
- **切断を始める前に，のこ刃の回転が全速になるようにしてください。**
- **木毛セメント板や硬質細木片セメント板などを切断したチップソーで，プラスチックや木材を切断すると切くずが大きくなり，本体内につまりやすくなります。プラスチックや木材はできるだけ新しい切れ味のよいチップソーを使用して切断してください。**
- **切込み深さを浅くして使用する場合には，刃口が開くため，集じん力が低下します。**
- **ダストボックス内に切りくずが満杯になったままで使用すると，排出口に切りくずが詰まり，集じん力が低下します。切りくずが満杯になる前に早めに捨ててください。**
- **フッ素ベース品は、滑りが良いためモーター部に無理がかかり易くなっています。機体を強く押しすぎないでください。また、金属製の定規に強く押し当てて使用するとフッ素コートが剥れる場合があります。**

⑴　材料の上に本体（ベース）をのせます。
ケガキ線とのこ刃とはベース前部の溝と穴で合わせます。（図９，図10）

図　9

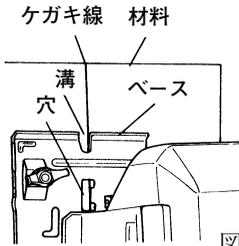
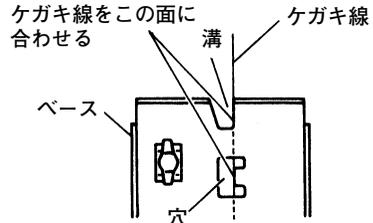
図　10

⑵　のこ刃が材料に触れない状態でスイッチを入れます。そのまま本機をゆっくり前方に進め，切り終るまでこの状態を保つようにしてください。（図11，図12）
ひき肌をきれいにするには一定の速さでまっすぐに進めてください。

図　11

図　12

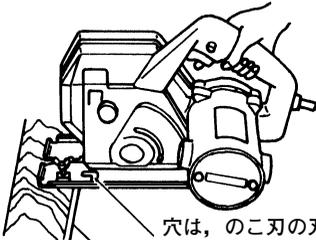
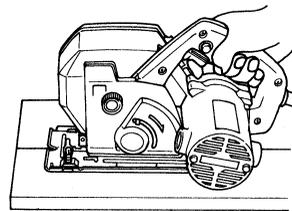
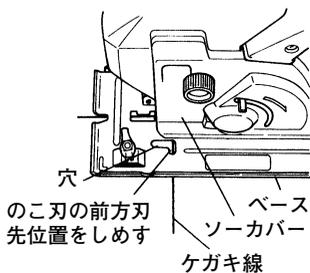
図　13

⑶　図13に示すベースの穴はのこ刃の前方刃先位置を示します。材料を途中まで切断するときなどに便利です。

図　14

スイッチは引金を引くと入り，ストッパを押すと指を離してもスイッチは入ったままになっており，連続運転に便利です。

切るときは再び引金を引きますとストッパは，はずれます。（図14）

のこ刃の取付け・取りはずし

⚠　警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．取付け方………

⚠　警　告

- **付属のスパナ以外の工具を使ってボルトの着脱をすると，締め過ぎや締付け不足になり，けがの原因になります。**

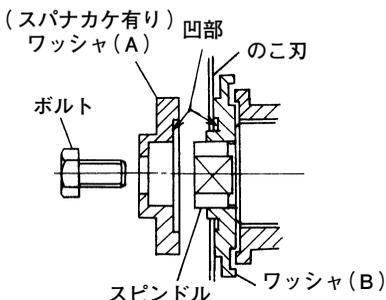



図15－1

⑴　スピンドルや，ワッシャに付いている切りくずをよくぬぐい去ります。

⑵　ワッシャ(A)およびワッシャ(B)の凹部をのこ刃側にします。（図15−1)

⑶　のこ刃の向きは，のこ刃の矢印がソーカバーの矢印方向と一致するようにします。

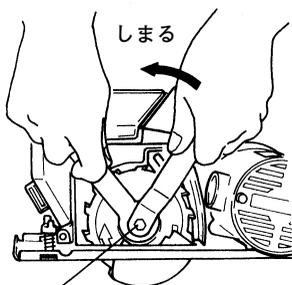
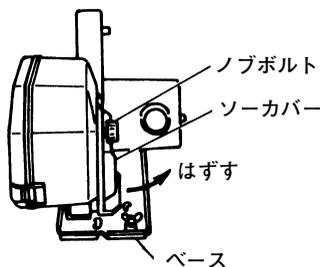



図 15 － 2

⑷　ボルトは十分に締付けてください。
　ボルト（左ネジ）は反時計方向にまわすと締まります。（図 15－ 2）

2．取りはずし方………

図　16

取りはずし方は，前記取付け方と逆手順で行なってください。

⑴　ノブボルトをゆるめて，図 16 の矢印の向きにソーカバーを取りはずします。
⑵　付属のスパナで，ボルト（左ネジ）を時計方向にまわしてゆるめ，はずします。（図 17）
⑶　のこ刃をスイッチ・ハンドルの方へ取り出します。（図 18）

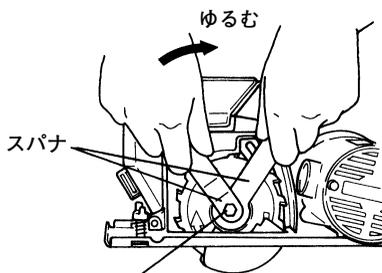



図　17

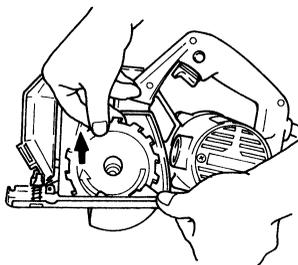



図　18

切りくずの捨て方と掃除

⚠　警　告
• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．切りくずの捨て方………

⚠ 注　意

- **材料によっては，切断直後，切りくずが高温になります。直接，切りくずに手を触れないようにしてください。**

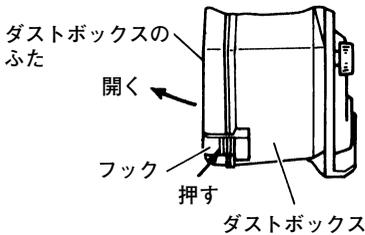



図　19

図　20

ダストボックス内に切りくずがたまりすぎますと，集じん力が低下します。満杯になる前に切りくずを早めに捨ててください。

(1)　切込み深さを最大にします。（図７参照）

(2)　ダストボックス前方にあるフックを押し，ダストボックスのふたを開き，切りくずを捨てます。（図19，図20）

(3)　ダストボックス内に付着している切りくずをかわいた布等できれいにふきとり，内部がよく見えるようにしてください。

(4)　ふたを閉じて，フックをかけてください。

注
- **ダストボックスは，ていねいに取扱ってください。たたきつけたりすると，破損の原因になります。**
- **切りくずを捨てる時に，本体のモーター部に切りくずが入らないようにしてください。**

2．排出口に切りくずが詰まった場合の取りのぞき方………

ダストボックス内に切りくずをためすぎたときやプラスチック，湿った材料を切断したときなどに，エンドブラケットの排出口に切りくずがつまる場合があります。このようなとき（切りくずが吸い込まれなくなるのでわかります）は，ただちにスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いて，つまった切りくずを次のようにして取りのぞいてください。

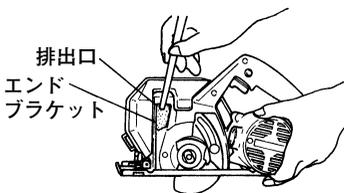



図　21

(1)　ソーカバーをはずして，のこ刃を取りはずします。

(2)　排出口につまった切りくずを割りばしなどで取りのぞきます。（図21）

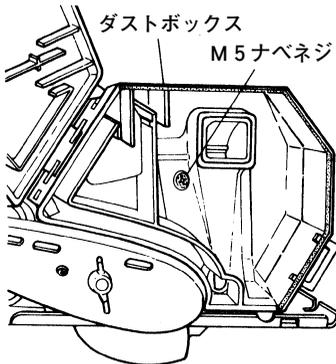
取りのぞきましたら，のこ刃，ソーカバーを元どおりに確実に取付けてください。

別売部品の取付け方

⚠ 警　告

- **万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**
- **集じん機の使用方法，集じんできる切りくずなどについては，集じん機の取扱説明書をよくお読みください。**
- **ダストボックスを取りはずすと，ダストボックスとかん合していた穴が露出しますが，この穴には何も挿入しないでください。**

1．集じんアダプタの取付け方………

集じん機（RP30SAなど）で集じんするときに使用します。（集じんアダプタセットの集じんアダプタも取付け方は同様です。）

(1) ダストボックスのふたを開き，M５ナベネジをゆるめて，ダストボックスを本体から取りはずします。（図22）

(2) 図23，図24に示すように，集じんアダプタを本体に取付け，M５ナベネジを締付け，固定します。

図　22

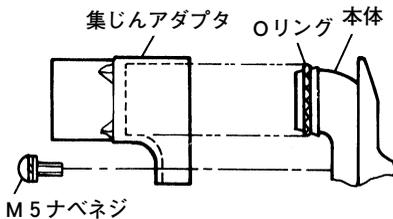



図　23

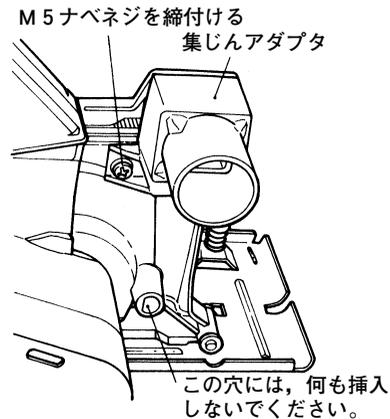



図　24

2．集じん機（RP30SAなど）に直接接続する場合………

集じんアダプタをご使用ください。

(1) 集じんアダプタにアダプタを差し込みます。図25に示すようにアダプタの外周にホースバンドを取付け，ネジをマイナスドライバーで締付けます。

(2) 集じん機のホース取付口のサイズに合わせ，アダプタの内側または外側に

集じん機のホースを強く差し込みます。
（アダプタの内径は32㎜，外径は38㎜です。）

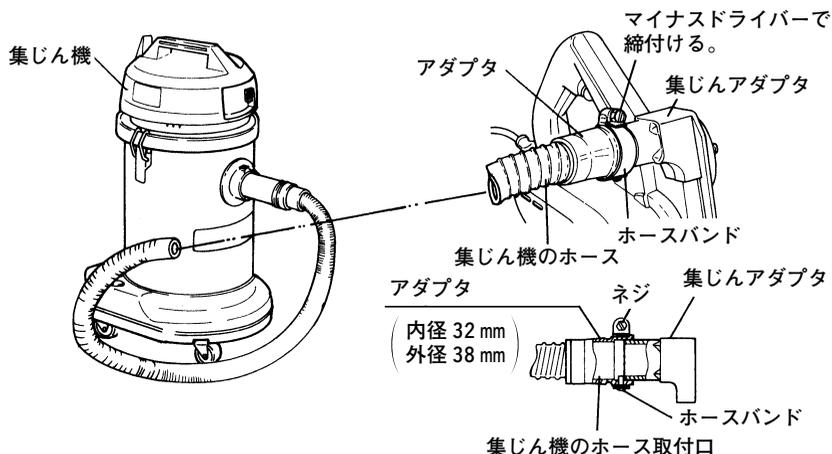



図　25

3．継ぎホースを接続して使用する場合………

集じんアダプタをご使用ください。

⑴ 継ぎホース（R25S1のダストホース）を取付ける場合は，ダストホースのホースバンドが付いている方を集じんアダプタに取付けます。
取付け後，ネジをマイナスドライバーで締付けます。（図26）

⑵ ダストホースの反対側（外径32㎜）を集じん機のホースに差し込み，接続します。（図26）

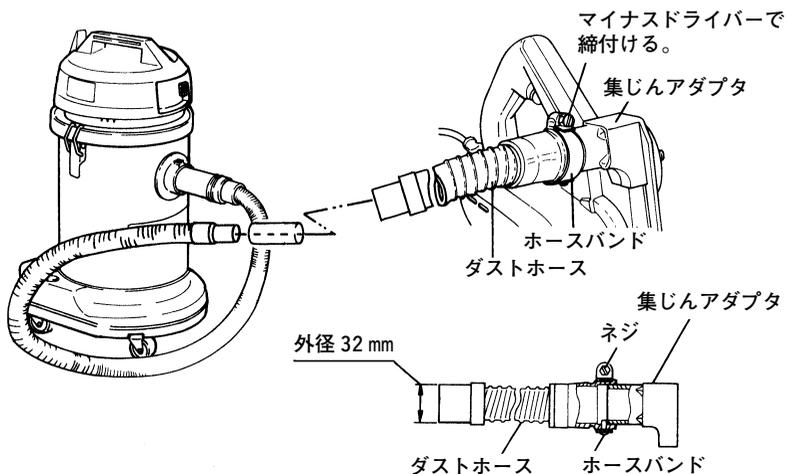



図　26

保守・点検

⚠　警　告
• 点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．のこ刃の点検………

⚠　警　告
• 極端に切れ味の悪くなったのこ刃を無理して使うと，切断時の反力が大きくなり，けがの原因になります。そのままお使いにならないでください。

のこ刃の切れ味が悪くなったのをそのままご使用になっておりますとモーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2．ベルトの点検………

ベルトのスリップ音（キュッ，キュッという音）が出やすくなりましたら早めに新品と交換してください。

3．カーボンブラシの点検………

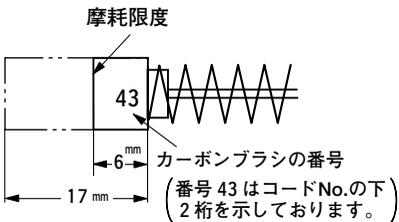



図　27

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（6㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。

注　**• 新品と交換の際は必ず図示の番号（43）の日立カーボンブラシをご使用ください。**

交換方法　カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ（図１－１参照）をはずしますと取り出せます。

4．各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

5．保護カバーの動作点検と保守………

保護カバー（図１－１参照）は，いつも円滑に動作するようにしておいてください。なお，不具合のときは速やかに修理するようにしてください。

6．表面のよごれ清掃………

本機の外枠は強じんな合成樹脂製ですが，ガソリン，シンナー，石油，灯油類を付着させると表面をいためます。

清掃の場合は，かわいた布か石けん水をつけた布などでふいてください。

7．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※　（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営業本部	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0626(代)
北海道支店	〒004-0053	札幌市厚別区厚別中央3条一丁目2番20号	☎(011) 896-1740(代)
東北支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東三丁目3番36号	☎(022) 288-8676(代)
関東支店	〒108-6020	東京都港区港南二丁目15番1号(品川インターシティA棟)	☎(03) 5783-0608(代)
中部支店	〒451-0051	名古屋市西区則武新町一丁目32番16号	☎(052) 533-0231(代)
北陸支店	〒920-0058	金沢市示野中町一丁目163番	☎(076) 263-4311(代)
関西支店	〒663-8243	西宮市津門大箇町10番20号	☎(0798) 37-2665(代)
中国支店	〒730-0826	広島市中区南吉島二丁目3番7号	☎(082) 504-8282(代)
四国支店	〒760-0078	高松市今里町一丁目28番14号	☎(087) 863-6761(代)
九州支店	〒813-0062	福岡市東区松島四丁目8番5号	☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822(無料)

※携帯電話からはご利用になれません。(土・日・祝日を除く　午前9:00～午後5:00)

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

部品コード　C99008508　N